公益社団法人栃木県サッカー協会取り組み（TFAミッションファイル）

《10年後の達成目標（国体プラス 10　2032）》

目標項目	達成目標	活動内容	現状数値 ＜2022年度＞
サッカーファミリーの拡大	サッカーを愛する仲間（サッカーファミリー）のうち、**プレーヤー・審判員・指導者が４万人（県民の２%）**になる。	1 第1種登録チーム数及び登録選手数の拡大 2 U13～U18 年代の登録選手数の拡大 3 女子登録チーム数及び登録選手数の拡大 4 フットサル登録選手数の拡大 5 いつでも、どこでも、だれもがサッカーとふれあえる環境づくり	サッカー選手登録 14,358 人 フットサル選手登録 470 人 審判員　5,590 人 指導者　2,280 人 計　22,698 人 県民人口 1,908,380 人 県民の　1.19%
本県代表の活躍	本県代表チームが全国のトップチームとなり、本県出身選手が**「日本代表」として5名以上、「Jリーガー」として40名以上、「WEリーガー」として10名以上**が活躍する。 また、**「国際審判員」として 2 名、「1 級審判員」として 10 名以上**活躍する。	1 代表チーム強化 2 選手の強化・育成 3 指導者の育成 4 審判員の育成	日本代表　0 人 女子日本代表 0 人 Ｊリーガー　31 人 WE リーガー 7 人 国際審判員　2 人 1 級審判員　8人
組織の確立	（公社）栃木県サッカー協会が全国及び県民より信頼の得られる組織として確立し、**全国ランキングトップ10入り**する。 差別・暴力・暴言の根絶を目指す。	1 組織内の連携強化 2 組織基盤の確立 3 財政基盤の強化 4 ガバナンスの強化 5 コンプライアンスの徹底 6 実施事業の充実	全国ランキング 第３４位
Jチーム、その他チーム・団体との協働	**栃木SC、その他チーム・団体、自治体と協働でサッカー競技環境の整備を行う。**	1 連携・共存体制の確立 2 サポート体制の確立 3 協働連携事業の実施 4 国体レガシーの活用	栃木ＳＣ 栃木シティ FC ヴェルフェ矢板 栃木シティ学園
サッカー施設の充実	県内の**人工芝サッカー場が30面に増加**する。	1 対象自治体への整備要望活動の展開	人工芝サッカー場 ・鹿沼市　１面 ・宇都宮市　５面 ・矢板市　３面 ・大田原市　２面 ・那須塩原市３面 ・日光市　２面 ・佐野市　３面 ・小山市　１面 ・真岡市　３面 ・さくら市　１面 ・足利市　１面 ・栃木市　１面 計　２６面

２０２３年度のＴＦＡ活動目標

（１）アクションプランの遂行

＜各連盟・委員会のプランの遂行＞

（２）サッカーファミリーの拡大（グラスルーツの普及促進）

＜プレーヤー・審判員・指導者登録数を県民の１．３％を目指す＞

（３）差別・暴力・暴言の無い、環境づくり

＜ＴＦＡ事務局に相談窓口を設置＞

（４）各種別の本県代表チームの活躍

＜全国大会ベスト８以上、関東大会準優勝以上を目指す＞

（５）Ｊ２栃木ＳＣ・関東リーグ栃木シティＦＣ、ヴェルフェ矢板

栃木シテイ学園との連携・協力体制の確立

（６）サッカー施設の拡充

＜人工芝サッカー場の１面増設＞

（７）県内各地区サッカー協会との連携・協力

（８）組織の確立と財政の健全化

＜組織基盤の確立と財政基盤の強化＞